

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 371 回 研究会 （新春セミナー）

- ◆日時 令和 6 年 1 月 17 日 （水曜日）
- ◆場所 THE KASHIHARA
- ◆講師 講談師 旭堂 南照 先生
- ◆内容 第一部 講談 「ミチコ先生とマーマレードと対馬丸」
「春日局」
第二部 講演 「講談とは・・・」
第三部 体験ワークショップ
新年会(懇親会)

今回の新春セミナーは、講談師の旭堂南照先生をお迎えして開催しました。

最初に芳仲会長より、「今年是不透明感が漂い、変化のある年になりそうだが、われわれ中小企業者の武器は機動力。しっかりと変化に対応して事業を進めたい」と新年のご挨拶があり、新春セミナーを開講しました。



芳仲会長 ご挨拶

今回の講師としてお迎えした旭堂南照先生は、大阪出身の大阪在住で、2010年6月四代目旭堂南陵氏に師事入門、2014年8月より創作講談「ミチコ先生とマーマレード

と対馬丸」を語り始める。2015年と2022年に沖縄の対馬丸記念館にて講談会を開催、2015年より毎年秋に「旭堂南照 独演会」を開催、2022年8月7日 国立文楽劇場大劇場で「平和」をテーマに独演会を開催、2020年四代目旭堂南陵師匠亡き後、講談塾と地域寄席を引継ぎ、運営を通じて講談の認知拡大に努めておられます。特技はクラシックバレエ、歌。コーチング研修、タイ古式ヨガインストラクターの資格を持っています。

講演では、「ミチコ先生とマーマレードと対馬丸」、江戸幕府3代将軍徳川家光の幼少時の養育と大御所徳川家康とのエピソードをテーマにした「春日局」の2席を、「張り扇」で調子を取りながら披露いただきました。



旭堂南照先生 ご講演

講演では、旭堂南照先生は、講談について、「話すテクニックが必要だが、いつ、どこで、何があったか、を語るもの。ほとんど会話だけの落語と違って説明もある」と紹介され、「子どもにも知ってほしいし、大人もかじっていただければありがたい」とお話されました。

ワークショップでは、参加者全員が「那須与一」の一場面を発声練習し、特徴ある講談の節回しを体感しました。

《会員様 ワークショップ》



鳥山代表世話人



上田前会長



増田様



谷野専務理事

講演後の新年会は、奈良中央信用金庫を代表して高田理事長よりの挨拶のあと、鳥山代表世話人より乾杯のご発声を頂き開演しました。参加者皆さま、ゆっくりとご歓談頂き、最後は山田副会長に一本で締めて頂きました。